

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月24日作成)

小委員会名	建築情報教育小委員会	主査名：加戸啓太 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：下川雄一
設置期間	2023年4月～2025年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建設産業界においてデジタルイノベーション・DXが目指されるなか、大学をはじめとする建築教育機関においても建築教育の情報化が喫緊の課題となっている。一方で現状では教育における人的・時間・コスト不足の問題も指摘されている。本小委員会では昨年度までに行った建築情報教育の現状調査を活かし、①情報化が図られた事例について更にヒアリングや分析を行うことでこの問題の解決の糸口を議論する。</p> <p>また、折しもコロナ禍においてリモート講義が普及し、オンライン教材が整備されつつある。これらのオープン化に関する議論もなされるようになってきたが、これらを活かした教育の場の姿については十分に考察されていない。建築情報教育の観点から②オンライン教材を活かした教育の場の形成について議論する。③それらの成果の公開も設置の目的に加える。</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築情報教育アンケート調査結果の学科・コース毎の分析 ・ 建築に関連するオンライン教材の現状調査 ・ 教育の場のアクティブ化を想定したオンライン教材の活用方法に関する議論 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の場のアクティブ化を想定したオンライン教材の活用方法に関する議論 ・ (座学形式を含む講義の) アクティブ化の試行・結果報告 ・ 建築情報教育に関する研究集会を開催 	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：加戸啓太(千葉大学) 幹事：杉田 宗(広島工業大学) 委員：大西康伸(熊本大学)、木村 謙(エーアンドエー)、倉田成人(筑波技術大学)、澤田英行(芝浦工業大学)、下川雄一(金沢工業大学)、中澤公伯(日本大学)、前 稔文(大分工業高等専門学校)、松本裕司(京都工芸繊維大学)、森谷靖彦(東京工芸大学)、松林道雄(建築研究所)</p>	
設置WG (WG名：目的)	—	
2023年度予算	140,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—

対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<p>1. オンラインの教材（デジタル教材）やそれを活用した教育事例について、広島工業大学の杉田先生（幹事）、北九州市立大学の藤田先生に事例を紹介いただき、ディスカッションを行った。</p> <p>2. デジタル刊行タスクフォース デジタル建築教材 WG に関連して、東京大学の池田先生の作成されたデジタル教材について、その公開に向けた査読の仕方や教育のあり方をテーマにディスカッションを行った。</p> <p>上記1. 2. ともに初年度の活動計画に強く関連するものであり、大学の枠を超えたアクティブな学び、デジタル教材のもたらす従前の座学形式からの転換の姿、そして、その教材を他者が利用する際の姿や検討すべき事項について非常に有益な示唆を得た。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 2024 年度の建築学会大会にて「AI 時代の建築教育」（仮）と題して PD を実施予定である。現在企画を詰めているところであるが、有益な議論の場となるよう企画を進めたい。</p>
その他	—